

高田区 地域協議会だより

フレイフレイ
た・か・だ

令和7年10月25日 発行
発行：高田区地域協議会
編集：高田区地域協議会・編集委員
南部まちづくりセンター
TEL 025-522-8831 ・Fax 025-522-8832

第62号

▶ **活動報告** 市から意見書への回答がありました 1～2頁



活動報告 市から意見書への回答がありました

中高生の学習場所の拡充に向けて前進しました！

高田区地域協議会では、中高生が安心して学習できる場所の拡充について6月16日付で市に意見書を提出し、このたび市から回答がありました。

意見書は、次代を担う中高生にとって高田区が魅力的な町として記憶にとどまり、将来的に高田に暮らしてまちづくりをけん引する存在に育つことを願い、学校や家庭以外の第三の居場所づくりの一環として検討したものです。



▲ 8月18日の第4回地域協議会の様子

第4回地域協議会において、市の担当課から回答の説明を受けました。市では、地方創生の一環として「若者が活躍できるまちづくり」に力を入れており、意見書の根底にある「高田のまちが中高生にとって暮らしやすいまち、将来戻って来たいまちになる」という思いと相通じることが確認できました。地域協議会では、今回の回答を前向きに受け止め、引き続き、市による検討の過程を見守っていきます。

— 市からの回答の要旨 —



【提案1】 高田城址公園オーレンプラザでは、多くの高校生が放課後等に共用部を学習場所として利用しているが、照明器具のない薄暗い空間や机のないソファで勉強する様子が見受けられることから、公民館としての役割も考慮し、勉強に共に励む高校生らに学習場所として会議室等を一定の時間帯に開放する。

市の回答

オーレンプラザの会議室は稼働率が8～9割と高く、当日利用意向も頻繁に見受けられる状況にあり、当該施設の会議室を一定の期間や時間に開放することは、幅広い市民の皆さんの利用に

＜次頁へ続く＞

＜前頁からの続き＞

支障が生じる。既に高田図書館に自習スペースを設置しており、その利用状況についても、ピーク時以外は比較的余裕もあることから、現行の運用以上の対応は考えていない。

照明の明るさに関しては、改めて利用している高校生への聞き取りを行ったが、明るさに関する要望はなかった。引き続き、利用している学生とのコミュニケーションを取りながら必要な対応に関して検討してまいりたい。

【提案2】 高田図書館では、利用予約が入っていない時間に会議室を学習場所として一般開放している。これにならって、中高生にとって利便性が高いと考えられるミュゼ雪小町においても、利用予約が入っていない時間に多目的室を学習場所として開放する。または、一定の期間や時間帯を中高生の学習場所として予め市が手配のうえ開放する。

市の回答

ミュゼ雪小町では、これまで、市民交流スペースに机や椅子を増やし利用者の受け入れ態勢を拡充したほか、「飲食ができるようにしてほしい」との学生の保護者からの要望を受け、市民交流スペースの一部に飲食スペースを設けるなど、利用者の利便性向上に取り組んできた。

中高生の学習場所としての開放については、他の施設利用者への配慮やマナー、ルール、利用方法などを整理したうえで、多目的室の予約が入っていない時間帯に限り、開放できるよう検討を進めている。

【提案3】 上越市雁木通りプラザ4階「市民サロン」の利用者数が少ない状況であることから、有効活用の一環として、開館日の平日は夕方以降、土曜日並びに日曜日、祝日は終日を中高生の学習場所として開放する。

市の回答

雁木通りプラザ4階市民サロンは、老朽化している空調設備の修繕に多大な費用がかかるなどの課題があり、学習場所として開放することは困難であると考えている。

同施設内には、類似のスペースとして、南部まちづくりセンター会議室やボランティアホールがあり、机・椅子など設備の状況、利用状況、管理上の支障も含め、中高生の学習場所として開放することについて検討する。

高田区地域協議会を傍聴してみませんか？

高田区地域協議会は月1回程度、高田城址公園オーレンプラザ研修室・会議室（本城町8-1）を会場に開催しています。

地域協議会は公開しており、どなたでも傍聴できますのでお気軽にお越しください。開催日については、市のホームページでお知らせしています。また、内容も含め詳細については、南部まちづくりセンター（TEL025-522-8831）へお問い合わせください。

